

第3学年4組 国語科書写学習指導略案

1. 日時 令和2年 11 月 24 日(火) 6校時(14:45～15:30)

2. 学年・組 第3学年4組(30 名)

3. 単元名 漢字の筆使い② はねと点「小」

4. 単元の目標

(国語)筆圧の強弱と筆使いに気をつけて、はねと点を書く

(人権)「ほほえみ」の人権推進項目(4-(1)-ア)学習者の権利と責任の重視
学習者の興味・関心を引き出す

5. 単元の評価基準

知識及び技能	主体的に学習に取り組む態度
はねと点を書くときの筆圧の強弱と筆使いを理解している。 筆圧の強弱と筆使いに気をつけて、はねと点を書くことができる。	はねと点を書くときの筆圧の強弱と筆使いについて、自分のめあてを決め、めあてについて練習しようとしている。

6. 単元について

(1)学習指導要領との関連

第3学年の毛筆を使用する書写(以下毛筆書写)については、現行学習指導要領、国語、〔第3学年及び第4学年〕、「(3)我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」の「エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと」に

(ウ)毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。
と示される。

(2)児童について

3年生で初めての毛筆書写を学習してきた。最初の授業では、書写セットを早く使いたくて

仕方がない、という様子の子どもたちだった。なんとか落ち着かせ、毛筆用具のおき方とじゅんぴ、用具の後しまつ、いろいろな線の学習をゆっくりと着実に学習してきた。2年生のときには自分の身の持ち物の整理がなかなかできていなかった子たちもいたが、書写の時間の様子を見ていると、大きな成長を感じられる。好奇心旺盛ではあるが、話をしっかりと聞かないので分からなくなってしまう、という状況が2年生で見られたので、一つひとつの指示をしっかりと聞かせていきたい。手立てとしては、ゆっくりとした話し方をする、簡潔な指示を出す、全員ができるまで視線で訴える、などのことである。

(3) 単元について

毛筆については、ほ先の向き、筆圧、横画「一」、たて画「川」、おれ「日」、はらい「人」を学習してきている。その中で、「トン・スー・ピタ」のイメージや、ほ先の通り道、はらいのときのほ先の筆圧について、などたくさんのことを学習してきた。本単元 はねと点「小」では、筆圧の強弱と筆使いに気をつけて、はねと点を書くことを目標としている。

(4) 指導にあたって

本単元の目標である、はねと点についての指導もていねいにしていきながら、前述したようなこれまでに学習したことも押さえていきたい。練習時間の中で声をかけることで意識させていく。学習した内容に気をつけて字を書くことで、字が上達できることを実感させたいため、2時間で試し書き→練習→まとめ書き という流れで学習している。本時が練習→まとめ書きとなる。前で見本を示したり、言葉で説明しても伝わりにくい部分があると思うので、前字の練習の最初でかご字を指でなぞる、かご字の上から筆でなぞる活動を入れている。これによって3画の配置を体で覚えやすいのではないかな。

字の練習が単調な繰り返しにならぬよう、一枚練習する度に自分でふりかえりをするように指導している。今回の学習でも、はらいと点の区別、中心をとる、始筆・送筆・終筆、ほ先の向き、などについて自分でふりかえりをさせながら学習をすすめていく。

人と比べて上手下手ではなく、児童の字がその1時間で上達すること、またそれを児童自身が実感できることを目指して書写指導を行っている。

7. 本時について

(1) 目標

- 「小」の練習をする。
- 練習と手本を比べて、はねの筆使いと点の筆使いをたしかめる。

(2) 展開

学習 過程	○学習活動	主な発問、指示	指導上の留意点◇ 評価☆
----------	-------	---------	-----------------

導入(5分)	(1)「小」の練習をする。	練習をしましょう。	◇筆を立てること、ゆっくりと送筆するように声をかける。
展開(25分)	(2) 練習と手本を比べる。	練習とお手本を比べてみましょう。気をつけないといけないところはどこかな。	◇以下の点について確認する。 ・はらいと点の区別 ・たて画が紙面の中心を通る
	(3) 教科書に書かれていることを確認する。	教科書の内容を確認しましょう。	◇教科書で朱色の部分をほ先が通ることを確認する。 ◇ほ先の通り道を確認しながらなぞるように声をかける。 ◇途中で点の練習をさせる。 ◇児童が書いた作品を使って指導する。 ☆自分のめあてを決めてめあてについて練習しようとしているか。 ☆筆圧の強弱と筆使いに気をつけて、はねと点を書くことができているか。
展開(20分)	(4) まとめ書きをする。	まとめ書きをしましょう。	◇声を出さずに取り組むようにさせる。
終末(5分)	(6) 学習をふりかえる。	学習したことを鉛筆書きでも試してみてください。。	◇本時の学習をふりかえる。本時で学習した内容を鉛筆書きでも試してほしい旨を伝える。

(3)板書計画

P24～P25 はねと点

気をつけること

はらい、とめ

中心

※その他

児童の作品を張るスペース

毛筆原寸大資料

ハ